

絵を描く人？

学芸員になるには？

学芸員の仕事って？

がくげいいん

学芸員の仕事を知らう

by フジヤマ ミュージアム 

学芸員ってどんな人？

施設の資料のことは何でも知っている専門家。絵・星・動物・植物など、学芸員には得意分野があり、資料のことを勉強したり、展示を考えたり、資料を守ったりすることが仕事です。国家資格を持っている人が、学芸員になることができます。

どんな仕事をしているの？

フジヤマミュージアム学芸員の仕事

館内のパトロール

毎朝の始まりは、展示ケースのガラスをふくことから！きれいにふくのはもちろん、絵に異常がないかも確認しています。



例えば...

展示の説明をする

お客様からのご要望があれば、展示の解説をします。学芸員は専門家！資料にまつわるいろいろな話を知っています。「知らなかった！」「おもしろいね！」という声をきけるよう、資料の勉強をするのも仕事のうちです。



フジヤマミュージアムには日本画ケースと洋画ケースがあるよ。日本画は岩やサンゴをすりつぶしたのを使って絵の具にしてるんだ。洋画は水彩絵の具や油絵の具を使っているよ。表面をよくみると、日本画は平らで、洋画はぼこぼこしているね。



展示替えをする

フジヤマミュージアムには「富士山」に関する作品が約600点あり、そのうち70～80作品を展示しています。

3～4か月ごとに、展示作品を入れ替えています。

①展示案を作る：どの作品を、どういう順番で展示するか考えます。

「春夏秋冬で並べよう」「雲と一緒に富士山を並べてみよう」など

②絵を入れ替える：展示案をもとに、絵を掛けます。作品は1点しかない貴重なものです。落としたら大変！気を付けて運びます。

《絵を運ぶときのルール》

・手袋をつける ・ひとりで持たない ・ゆっくり歩いて運ぶ

ケースの温度・湿度を計測する

温度と湿度の管理は、作品にとってとっても大切です。管理できていないと、カビが生えたり、絵が割れてしまったりします。作品を守るために、毎日温度と湿度を必ず確認しています。



学芸員はいろいろな仕事をしています。美術館や博物館に行ったら話を聞いてみよう！

アートプログラムの開催

月に2回、画家の先生を講師にお招きしたアートプログラムを開催しています。絵を描いたり、工作をしたり、内容はさまざま。

今月はどんなプログラムにしようか、先生と一緒に考えます。

《過去プログラム 綿で絵を描こう》



FUJIYAMA
MUSEUM

フジヤマ ミュージアム